

山には山の、川には川の 妖怪が棲む

石上玄一郎〈作家〉 VS 多田智満子〈詩人〉



「日本の鬼は異民族の酋長だったようですね」石上玄一郎さん

多田 「魑魅魍魎」^{らみもろよう}という作品にしたことがあります。それは、奥山で吹雪のために山小屋に泊らざるを得なくなつた連中が一つずつ妖怪の話をしていくという形式のものです。

多田 「デカメロン」や「カントベリー物語」式のシチュエーションですね。その中で何か一つ面白いのをお聞かせ下さいませんか。

石上 そうですね、例えばこんな話があります。木樵がマンダの皮を剥ぎにひとり山へ入ると、谷一つ向うの山の尾根を董装束の女が童の手をひいて登つて行くのが見える。あんな喰いきクラカケをい

座敷童^{わらわらわらわら}は旧家の守護神

多田 石上先生のお国は確か東北の方でしたね。

石上 ええ、盛岡です。

多田 あちらには色々面白い妖怪がいるそうですね。

石上 そうですね。面白い妖怪伝説がありましてその一

にか母の側に戻っていて、こちらを向いて会釈しながら手を引きあつて尾根をのぼり、やがて柵引く横雪の中に姿をかくしてしまった…というのです。

多田 座敷坊…こというのもいますね。その場にいる人

数を数えると一人多い…といふ…。

石上 東北では座敷童…と言つて、旧家に多いんです。貧

しい家にはいません。恐らく旧家の守護神なん…しよう

その旧家が衰退していくと座敷童もいなくなる…という。

多田 する…といつた方がいいんですね。

石上 そうなんです。座敷童や倉童…とは別に、例えば鼠や蛇がいる…というのもその家の繁盛を象徴しています。

多田 鼠や蛇も一種の守護靈…ですね。

石上 あるいは竈神…の…なものなん…しようね。東北

に限りませんが、大きな百姓家では倉に蛇がいても決して殺したりしませんね。また、鼠がいなくなる…とかえつて天災地変などの凶事が起ると考えられています。

日本の鬼は異民族の酋長だった



「<隠>つまり亡魂であったともいわれていますね」多田智満子さん

石上 倉童や座敷童は必ず倉や座敷に現われる…ように、山には山の、川には川の妖怪が現われますね。

多田 ゲニウス・ロキ（場所の靈）…と言つて…ですか、常に場所と密着して現れる…ですね。

石上 そうですね。川には有名な河童がいます。河童は妖怪でもユーモラスで△善▽のイメージ…がありますね。昔から太宰も芥川も作品に…している…。

多田 河童は日本独特の妖怪…ん…でしょうか。

石上 や…、格好は少し違…ん…ですが、やはり中国にその原型…みたい…もの…がある…ん…です。

多田 中国には山海經…という怪力乱神に満ち満ちた地理書…がありますね。妖怪変化が一杯出て…きて面白い本です。

石上 蜈蚣…とか…の…のは要するに魑魅…とか木靈…精靈…とか…いう…もの…なん…ですが、鬼も…一種の妖怪…ですね。

多田 日本の鬼…といつたのは△隠▽…である…と言…いますが、要するに亡魂…ですね。

石上 鬼哭…とか…の…のは、供養する…もの…い…ない亡魂が恨めしさに泣いてさまよつて…いる…といつた…あります…が、中国の鬼は大体…そういう…もの…らしい…ですね。供養して…もら…え…な…かった…幽魂…についての記述…は、古

代エジプトの『死者の書』…に…す…で…に…あ…り…ます…が、…それ…ら…は…地…上…を…さ…ま…よ…つ…て…残…飯…を…べ…た…り…濁…つ…た…水…を…飲…ん…だ…り…して…非…常…に…苦…勞…す…る…とい…う…ん…で…す…。…ま…あ…、…エ…ジ…プ…ト…の…な…鬼…です…ね…。

多田 エジプト人も供養を大事に…して…いま…した…ね…。立派な墓をつくり…死者をミイラにして供物を捧げる…。それは子たるもの…の絶対の…つ…と…め…だ…つ…た…よう…です…。

石上 ところで日本の鬼は△隠▽…以外…も…あ…つ…て…ね…、…アイ…ス…や…蝦夷…



といった大和民族以外の先住民族や異民族の酋長のこと

も鬼と言っていたそうです。

多田 大江山の鬼などもそういった異民族の鬼と見る方

が理解やすい。

石上 ええ、それは天狗とも一致するんです。天狗は大和民族と違って、背が高く、色白で鼻も高い、という記述があります。どうも日本人臭くないんですよ。天狗もまた、異民族か、漂流者なんでしょうね。

魔所に近寄ると天狗にさらわれる

石上 東北には、"オシラカミ"という中国からきた神がいるんですよ。

多田 オシラさんは確か蚕の神様ですね。

石上 そうです。そのオシラさんが馬と娘との恋愛物語の中にでてくる。

多田 異類通婚譚の一種ですね。確かに馬が娘に恋をするんですが、娘は厭がって、父親にその馬を殺してもらいい、その馬の皮を干しておく。その皮が娘の体に纏いついて、娘を巻きこんだまま木にぶらさがる。結局娘は馬頭の形をした奇妙な虫になるんですが、それが蚕だという話でした。

石上 列仙伝に、その物語が出てきますね。

多田 しかし蚕が馬頭の形に似ているなんて、奇想天外なことを考えたのですね。

石上 そうですね。向うでは、巫女が黒子を着て、そのオシラカミの話を人形芝居でやって見せてくれるんです

よ。それがすごく日本離れしていく面白い。東北の山中に蒙古の砂漠が現われたみたいな感じの所でね、一見のあたりで夜、座禅を組んではいるが非常に奇妙な体験をするそうです。地面から湧き出たとしか思えない小人みたいなものがガヤガヤ言つてゐるような音がしたり、鬼火がちらついたり…。

石上 "またぎ"や"木樵"に言わせると、山には昔からそういう魔所があつて、そこへ行くとしょっちゅう山へ行つてゐる人間でもぞつとするとそうです。そこに毒ガスのような人間の神経を麻痺させるようなものが吹き出しているたりすることも考えられますね。

多田 すると昼夜に限らず気味悪い所なんですか。

石上 そうですね。昔からそこへ行つてはいけない、そこへ行くと天狗にさらわれる、とか言い伝えられている所なんですね。

多田 しかし現代は都会もどこも明るくなりすぎで、本当の闇がない。魑魅魍魎も棲息しにくいでしようね(笑)。

石上 東北の山奥なんかに行くと、それこそ天狗でもやつて来そうな深々と身に迫る闇を感じます。ああいう所では人間の想像力も鋭くなりますね。

多田 確かにそうですね。夜の闇というのは理性の働きを抑えて、想像力をむやみにかきたてるところがありますから、ふだん、家の中にいてさえ、眠れない夜に、闇

の中で目を覚ましている時など、昼間と全く違う異様な感覚が働きます。

石上 それに、昼は夜と違つて酒が飲めないようにできてるんですよ(笑)。昼酒というのはどうもいけません。

妖怪の本体は落魄した神々の姿

石上 昔はね、非業の死を遂げた人間の葬り方は違つていたんですよ。まともに葬らずに橋の袂に頭から逆さにしたり、うつむけたりして葬つていた。中国では俯身葬というんですがそれは災難や疫病にかかるて死んだ人が、この世に亡魂となつて出てこないようにと葬つたんです。

多田 仰向けに葬ると口から靈魂が飛び出して危険だと言うので俯けにしたりしたんでしょうね。

石上 ひどいのになると人の歩く道の下に葬つてある。多田 ヨーロッパでも、例えは自殺者はキリスト教界では罪人ですのでそういう葬り方をしていたようです。

石上 橋の袂などには葬られた人間が亡魂となつて、鬼面というか、鬼の形で留つているかもしれませんね。

多田 大体、鬼の面は青黒くて牙がむき出していたりしますが、あれは死者の相だそうですね。死んで、徐々に腐敗していく人間の相を意匠化したものなんでしょう。

石上 民族学者に言わせると、妖怪の本体は落魄した神々の姿だそうです。神々も恩恵をもたらしているうちはいいんですが、流行らなくなると祟りをする以外仕方な

くなる。

多田 日本は特に崇りや怨靈を恐れますからね。しかし

非業の死を遂げた人でも、庶民であれば、神靈としては大したボテンシャルを持たない。菅原道真とか相良親王のような位の高い人だと恐るべき怨靈となるんですね。

古代にも大麻常用者がいた

石上 外国にはモンスター、ゴースト、ファンタム、ゴブリンとか色々な妖怪がありますね。

多田 先程志明院の住職の体験談を申し上げましたが、地面から現われる地靈のような小人のようなもの、あれはヨーロッパでノーム(Gnome)と呼ばれている一種の妖怪で、万国共通のものでしょうね。ゴブリンというのもノームの仲間だと思います。

石上 外国のお怪は知らないせいか、余り凄味がないですね。やはり凄味があるのは日本のものですね。

多田 そうですね。吸血鬼など余り魅力ありませんね。日本のようなモンスター地帯の気候の不可抗力のもとでのもので、晴らすことのできないものだと思いますね。

石上 怨念っていうのは、恩恵が即、災害であるという外国ではその怨念を晴らすことができる状態にある。

多田 そういえば、吸血鬼に相当する上田秋成の『青頭布』というのはすごく鬼気迫るものがあり、美学的にも優れていて、あれほどの作品は外国の吸血鬼小説なんかにはないよう思います。

石上 あれこそ『雨月物語』中の傑作ですね。





世界中の妖怪談をめぐって対話はつづく…

多田 山の氣味悪い魑魅魍魎の出てくる泉鏡花の『高野聖』も迫力ありますね。鏡花は妖怪についての感覚を優れて持つていた作家ですね。ギリシャの神々も、古い神々は氣味悪いんです。美しくて人間的なオリンポスの神々に至るまでの第一世代に、ガイアとウラノス、第二世代にクロノスとレアがいます。クロノス、レアの世代はティタン神族という怪物の多い神々の一族ですね。百腕の巨人だの一つ目、この巨人だのいまして。そしてこのティタン神族の次の世代がゼウス達オリンポスの神々です。

石上 その後にゴルゴンやメデューサが生まれますが、あれも怪物ですね。

多田 ゴルゴンはおそるべき邪眼の持ち主ですね。その醜怪な顔をまともに見た者は石になる。しかし恐いものは善と悪の二面を持っており、それを上手く使えば守り神になります。ゴルゴンの面はアテナ女神が橋につけていたし、家々の竈や門にもよくつけてあるんです。

石上 同じくギリシャ神話にててくるミノタウロスも半人半牛の妖怪ですが、あの原型はエジプトのアビスですね。

多田 ミノタウロスは化け物である以前に神でしたからエジプトのアビスと共に通しているといえるでしょう。ギリシャも古い世代では、神々ですら牛や馬であったという痕跡が認められます。

石上 人面獣身、獣面人身といったモンスターが神だったんですね。スフィンクスも奇妙な複合動物だが…。

多田 エジプトのスフィンクスは地平線上のホルスの一つの相で、ギリシャのスフィンクスと何の関係もないのですね。あれは、ピラミッドのガーディアン、守護霊みたいなもので。

石上 日本の神社の狛犬みたいなものかな(笑)。

多田 オイディップス神話のスフィンクスは女の顔で、ライオンの姿で、鳥の羽根を持つている。しかしあれにはガーディアンの性格はないです。謎をかけては人を殺すばかりで。

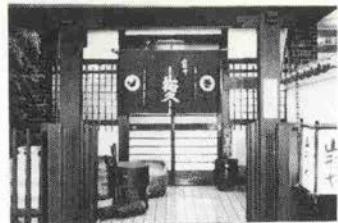
石上 ああいう複合動物は大麻などを吸つた時、幻覚に現われるそうです。だから古代人達もそういうことをやっていたかもしれませんね。それはフランスのアンリ・ミショーが実際に体験したと書いています。スフィンクスにしろ、ガネーシにしろ、違った動物をかくも見事に複合している(笑)。これは私の憶測ですがやはり幻覚剤のせいだと思いますよ。古代インドのヒンズー教の十一面觀音なども普通の人間の想像力を超えています。あれも大麻か何かの作用だと思いますね。『アヴェスター』にははっきりと大麻を飲んだという記述があるし、『ヴェーダ』にも大麻について書かれてある。しかしあの十一面觀音の正面の顔はいいが、背後の顔というのには氣味悪いですね。当時の人はすでに人間の心のアンビバレンツに気付いていたんですね。

多田 憤怒の相や嘲笑の相があつたりして、あの觀音の十一面相は一人の人間のさまざまの心を表わしたものだと思いますよ。

石上 そうすると人間それ自体が妖怪であるのかもしれませんね(笑)。



古陶器の逸品で味わう季節の風味…



山形や裕久コレクション・10

玄関脇の九州産の竹が青々と繁る。さすが天然記念物だ。感心するのは早い。店内に所狭しと飾られた古陶器の数々。いずれもご主人の山形さんのが永年かかって蒐集したものだ。眼のある人なら思わずほおうとうなってしまう。その器に季節の風味が盛られて出て来る。味よし器よし。“通”にとて贅沢な店だと言えよう。

- ①古伊万里六寸皿仙人図
- ②豆皿串高台牡丹に扇面図
- ③琉球徳利
- ④飯茶椀鳳凰に丸紋箇図
- ⑤猪口柿右衛門染付秋草の図
- ⑥猪口唐津魚紋図
- ⑦輪島塗吸い物椀

※コース（皮、ズリ、きも、ねぎ身、ミンチ、野菜2種類）の他に、真夏の味覚として五目山菜釜めしなどの美味しい季節となりました。



焼鳥 釜めし

山形や 裕久

神戸市東灘区本山北町3-11 (本山市場東)
(阪急岡本・国鉄揖津本山各駅から徒歩3分)
電話(078) 452-2905 午後5時-10時 月曜休

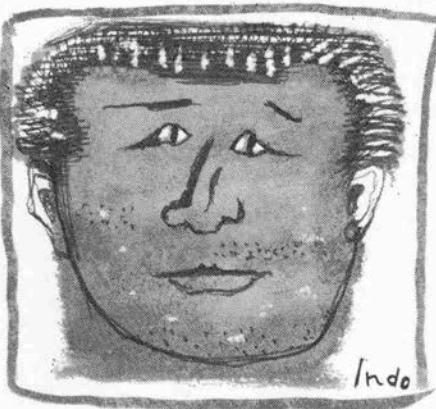
医

る

岩

徳 / 留
童

徹 節



岩が、なみだを押し分けてとびこんできた。岩の後では積乱雲が空をかきまわしていた。岩は、肩をいからし、日が熟すのを待っている。

——眠ったようす、とクミが私の横に腰をおろした。
婿さんにもらいたいもんじやわ、と笑った。私もつられるように笑い、こめかみに熱が集中するのを感じた。

——ほんにねえ、辰吉さんもあんたのようにならなかつた。わたしも若かつたとよ。でも、戦争がねえ……ま、わたしはいまの主人にめぐりあえたからいいけど、辰吉さんのこと思うとねえ、かわいそなうなんて言葉では片づけられんもんがあるしねえ。

——辰吉さんは婚約しただけですか。

——たつた一晩だけの結婚生活じやよ。何がなんだかわからんうちに何もかもすんで、気がついたらわたしはたのだらう。

ひとりぼっちになつていたという感じじやつたねえ。
——ぼくにはわかりそうもないなあ、そんな気持、
——そうじやろうねえ、あんな気持になるのは、わた
したちだけで充分じやよ。
岩は、今何に見えるだらう、と私は自分にたずねる。
雲がさきほどよりも高くわきおこり、日をかくし、岩を
も包もうとしている。岩は全身に力をはりつめ、雲をか
き抱こうとする。はげしく抱き合う男と女。かぎられた
わずかな時間。その時間が過ぎ去つてしまえば二人はも
う二度と逢えない。悲しみが、怒りが、そして愛が煮え
たつて力になり、抱きしめあう。岩は苦悩し、岩は咆哮
する。

——でも、どうして、と私は岩と雲を見つめたままつ
ぶやく。戦争に行くつてわかっているのに結婚なんかし
たのだらう。

——そうじやねえ、まわりがそうじやつたからねえ、それに、お婆さんがひとりになつてしまふしねえ……やはりまわりの言うことには逆えなかつたねえ。

——辰吉さんもそうだつたのかなあ。
——そうじやねえ、やはり母親ひとりを残してはいけんわねえ、でもあのひとはそれだけじやなかつたと後でわかつた、あのひとはほんにわたしを好いてくれとつたとよ。

クミは言葉をきり、うつむき、エプロンの端糸を揉む。
三十多年の光の流れが白い糸の中に揉み込まれてはほぐされ揉み込まれる。

——あのひとは、わたしにふれようとしなかつたとよ、自分は死ぬかもしれない、そうなつたらおまえに一生負担をかけてしまうと言つてねえ……
嗚咽が唇をきる。糸くずはきつと揉まれ、ほぐされ、また揉まれる。岩は、雲の奥深くにある太陽を求めて、もがく。

夜になつて、老婆は少し持ちなおした。熱も下がり、クミがつくってくれた粥を音をたててすすつた。私はほつとする。しかしクミはしきりに家の方を気にしている。源がまだ帰つて来ないので。もし十時までに帰らなかつたら私が岩まで行つてみることにする。

老婆は粥をすすると眠つた。

私は縁側にねころんと海を見ていた。テレビでも見たから、とクミが言つたが、こんな所まできてテレビなど見る気にはなれない。私は海をみていた、老婆の言つた筏をさがしていた。波が家からもれるわずかな光をもとめて、暗黒の彼方から駆けてくる。筏は、どこにあるのか。辰吉の住むという国へつづく筏は……南方の小島、生きのびた兵士が砲撃でなぎたおされた木を葛で結わえつけた筏をつくる、海へ乗り出す、北へ、祖国へ、母の国へ、だが生木の筏は数メートルも行かないうちに沈んでしまう、兵士の声が波間に伝う、母を招く声が……波

黄泉の国からわきおこつてきては砂浜にかけあがり、母の眠る家をめざすが、わずか二メートルほどの防潮堤を乗り越えることができない。

——このテレビはね、とクミの声が私を現実につれもどす。うちの人が買つてくれたのです。母さんの喜びようたな、あの冷蔵庫もそうじやつとよ。わたしはしあわせ者よねえ、ほんとに……亭主を二人も持つて、と笑つた。

そうかもしれない、と私は思った。私の母のようにひとり息子に逃げられ、亭主が定年が近づくにつれて命に鉋をかけられるような気持で生きていくより……仏壇の目覚し時計が十時を示す。源は帰つて来ない。私はでかけることにした。ひとりでは心配だから誰か一緒に行つてくれる人を頼んでくる、クミは家を出て行つた。

私は辰吉の浴衣を脱ぎ、自分のジーンズに着がえた。あの街の臭いが私をつみこんだ。老婆は辰吉の作業着もしまつてゐるにちがいないと思ったが、老婆を起こすことになるのであきらめた。

外で私を呼ぶ声がした。私は老婆を見る。睡魔が熱の苦しみも夢も追い出しているのであろうか、老婆の寝顔は波の音を鎮めるほどに、静かだつた。筏を渡つたりしてはだめだよ、私は声をかけ、外に出た。

ふたつの懐中電灯が私を待つてゐた。クミが自分の電灯を私に渡してくれた。男は昨夜の酒宴で見た顔だ。甚作と名のつた。四十歳ぐらいで、この村のみんなと同じようく潮風に晒された顔をもつていた。

甚作が先に立つて歩き出した。ふりかえると、門口に投げ出された明りの中にクミが立つてゐた。甚作は黙つて歩いた。バス道路を横切り、岩への道に入る。クミはまだ立つてゐた。私は大きく灯を振つた。クミの手が明りを払いのけるように揺れ、おたのみます、と声が闇をつきぬけてきた。

岩を見上げた。一瞬、巨大な口の中にのみこまれたような錯覚にとらわれた。岩は闇よりも黒い口で星を嘔み

碎いていた。私のかざす灯も飲み込んでしまう。

——源小父ものう、

闇の中から声が下りてきた。私は灯を下ろす。甚作の機敏に動く肩があつた。

——あんなにまで思い込まんでも良かとにのう、
その声は私に話してると、闇にまぎれこんでいる岩の靈に言つてゐるような口調だった。

——今度の大戦じやこの部落からは三人も出征したんだがよ、生きのこつたのは源小父だけじや。それが苦しいといつも言つた。そん気持はわかるがなあ、死んだ者はしようがなかしなあ、御神岩様を祈つたところで帰つてくるもんではなしなあ。

甚作はどんどん歩いていく。私はついていくのがやつとなのに、彼は息もきらさずしゃべりながら歩く。いい若いもんが、とママの声がした。私はこんなところでママを思い出した自分がうれしくなる。さらばだね、ママ。さよならだよ、ママ、もう金輪際。恵子によろしく。ぼくは信と恵子をはりあつてもよかつたんだが、それがどんなに億劫なことだったか。さらばだ。そのうちあんたちは記憶の戸棚から私をごみのように掃き捨てるだろ。あの街のすべてが私を忘れるだろ。私も——でも私は老婆を忘ることはできないだろし、岩はいつまでも私の胸に居坐りつづけるだろ、そして私は辰吉を体験した。私は私だし、辰吉もあるし、辰吉は三十三年後の二十歳に私のように生きただろう、私も三十三年前の二十歳に辰吉のようになつた。

——源小父はなあ、

甚作の声がかぶさつてくる。彼の地下足袋は私の灯の中で地に吸いつき、めくれる。それは渓流を登る二匹の魚影のようだ。

——御神岩様を祈つとれば自分は救われると思つとるだ。御神岩様を崇め奉れば自分が生き残つたことも、そしてあの戦争で人を殺したこと、ぜんぶ許してもらえると思つとる。そう思うのは勝手じやから良か、で

もなあ、それを人にまで押しつけよる。御神岩様を祈らんにや、御神岩様がお怒りになつてこの村に落ちて来なさるとか、神隠しにあうとか言うてな、そりやなあ、先祖代々御神岩様は村の守り神じやつたことには違ひはないが、もうなあ、そんな時代じやなかとになあ。

息が切れてくる。私は松の木によりかかつて深呼吸をする。甚作はどんどん進んでいく。もうなあ、そんな時代じやなかとになあ、と私は息切れのなかで口まねをしてみる。甚作は「町の奴ら」と手を組むだろ。源もひとりでは御神岩様の祭りもできないと悟り、妥協するだろ。三者が握手をすれば、源の御神岩様への至情は彼らを結びつける思想となり、「町の奴ら」はそれを觀光向けにうすめ、甘味をつけて煽るだろ。辰吉はどうするだろか。……クミの顔がうかんでくる。一生負担をかけると言つて、新妻に触れようとしなかつたあの行為は、やはり源のそれに到達するものではないか。

私は歩きはじめる。やつとのことで甚作に追いついたときには頂上近くまで來ていた。

——呼んでみましょうか、

と私が声をかけた時だつた。上方の闇で、だれだ、という源の声がした。

——俺だ、甚作だ。

二人の声が闇に打ち上げられ、静かに沈む。甚作が歩きはじめる。岩が動いた。私たちは巨大な黒い口の中にいた。

——源小父！ 甚作が叫んだ。
——頭が高い、まる見えだぞ！

私は思わず頭をひつこめた。甚作は道を登りきり、御神岩様の広場に立つた。今にも岩に吸いこまれそうだ。白いシャツがぱたぱたともがいた。私も広場に這い上がつた。目がなれてきて、広場のほぼ中央に、きのう老婆がいたあたりに腰から上を出し、竹ぎれを銃のよう構えた源がこちらを睨んでいた。

——どうしたとだ、源小父。

——頭が高い、敵前だぞ！

——なんだ戦争ごっこか、こんな夜更けに。

——貴様、何者だ、撃つぞ！



甚作は源に歩みよる。

——来るな、撃つぞ、うつぞ！

甚作は止まらない。私も恐るおそる後につづく。よく

見ると源は穴を掘り、その中にはいっていた。

——源小父、いいかげんにせんか、タコツボなんぞ掘つて……戦争なんていやというほどしてきただろうに。

——貴様あ、上官を侮辱するか このオ……

突如、源は穴から飛び出て甚作に突き進んできた。甚作はよける間もなく、詰まつたような叫び声をあげ、倒れた。源は勝ち誇ったように竹を振りあげ、起きあがろうともがく甚作を突こうとした。私は、肩から源にぶつつかつて行つた。源は倒れ、穴にころがり込んだ。私は甚作を抱き起こした。

——この気狂いが、と甚作は胸をさする。

——大丈夫ですか。

——この気狂いが、この戦争馬鹿が！

穴の中で呻き声がし、起きあがる気配がした。

——源さん、大丈夫ですか。

——貴様あ、と穴の底で声が起り、それは次第に上

ずつてきて、上官を突きとばすとは何ごとだ、敵前だぞ、銃殺だ！

——この気狂い、おまえこそ刑務所行きた。

甚作は怒鳴つた。私は二人をなだめる。源は穴から上半身を出し、竹を銃のようにかまえる。そのすばしこさに、私は兵士を感じる。このような暗闇に、このような穴の中で、敵を待つ、いや死を待つ兵士。突如、砲弾が炸裂する。穴はより巨大な穴となり、兵士の影はどこにもない。

——源さん、帰りましょ、奥さんが心配してますよ。

それに、お婆さんも倒れてしまつて……

——貴様、見ん顔じやが、と源はすでに狂気の餌食になつてゐる目を私にすえて、パアロだな、と言つた。

——辰吉ですよ、シズ婆さんのとこの、

と源は構えた銃の上に顔をかぶせた。私は自分の名前を言わなかつたことを後悔した。

——さ、帰りましよ、甚作さんと連れに来たのです。

——辰、すまん、タツ、ほんにすまん。おまえは死んだとばかり、思つとつたのだ、ほんにすまん、すまん甚作が口をはさむ。

——何を寝言を言うとるんじや、おまえが辰吉のまま

でいてくれと頼んだだろうに。

——許してくれ、辰吉、なあ、辰吉よ。

源は泣きじやくりはじめた。さ、帰ろ、と甚作が源の肩に手を置いた。源はふり払い、銃を構える。

——辰、俺も男だ。こうなつたら潔く突撃だ。

彼はくるりと岩に向きなおつた。

——目標、前方十メートル、突撃に進め！

兵士は穴をとび出る。ウォーと獣のような声をはりあげて突進する。岩が立ちはだかる。彼は一瞬ひるんだかのように見えた、が、次の瞬間まえよりも大きな声をあげて進む。岩にぶつかつた。源はあおむけに倒れ、すぐさま立ちあがると竹で岩を突く。何回も何回も……彼に向かい来る敵を銃剣でなぎたおし、なぎたおし、突進する。……彼の声は岩にはねかえつてきて、私を襲う。岩は星と戯れている。

——こりや、手におえん。すまんがのう、あんた部落まで降りて行って加勢を頼んできてくれんか。わしが行つてもいいが、あんただけを残すと源小父はますます興奮するでな。

——源さんが疲れるのを待つた方がいいんではないですか。

——うんにや、あれでは疲れる前に何をしでかすかわからん、御神岩様の天辺から飛びおりられでもしたら事だ。

私は甚作の言うとおりにすることにした。源は岩に突撃をくりかえしている。神であるはずの岩へ……辰吉へ

の謝罪として彼の一番大切な神を殺そうとしているのだろうか。それともこうなつたのはみんなこの岩のせいだという憎しみからだろうか。

私は岩を背にした。道にとび降りようとしたとき甚作の声がひびいてきた。

——もうあんたは来んでも良いからね。源小父の神経に悪い。そうじや、もうこのままこの村を出た方が良い、なあ、所詮あんたは辰吉じや無かとじやから。所詮あんたは辰吉じや無かとじやから、か。私はつぶやき、道にとび降り、所詮ぼくはよそ者です、と叫び返す。返事は帰つて来ない。源の突撃の声が岩の声となつて聞をふるわせているだけだ。

私は急ぐ。所詮、岩を神様と信じることはできませんなあ、とつぶやく。しばらく行くと、下の方に光の輪を発見した。誰だろう、私は待つことにして松の根に腰をおろす。光は息せきながら登つてきて私をとらえた。光の後でびっくりしたような人の気配がする。

——辰吉さんか、

——そうです、いえ、あの……

——あのなあ、と光はにじりよつてきて私の声をそらした。私はまぶしくて手の甲で顔を覆つた。声がどもりがちにかぶさつてきた。

——シズ婆がだめじやつた。

懷中電灯が私の手からすべり落ちた。光は坂道をころがり、道からはずれて、消えた。私は光の消えたあたりを凝視していた。

——シズ婆もあわせ者よ、あんたを辰吉と信じきたんじやからなあ。

男の灯が私の顔から遠のいた。不意の間に私の目はいくつもの光を点滅させた。そのとき、私は確かに見た。光が消える瞬間、老婆の小さな後姿が筏にとび乗るのを。

「我が心に唄えば」

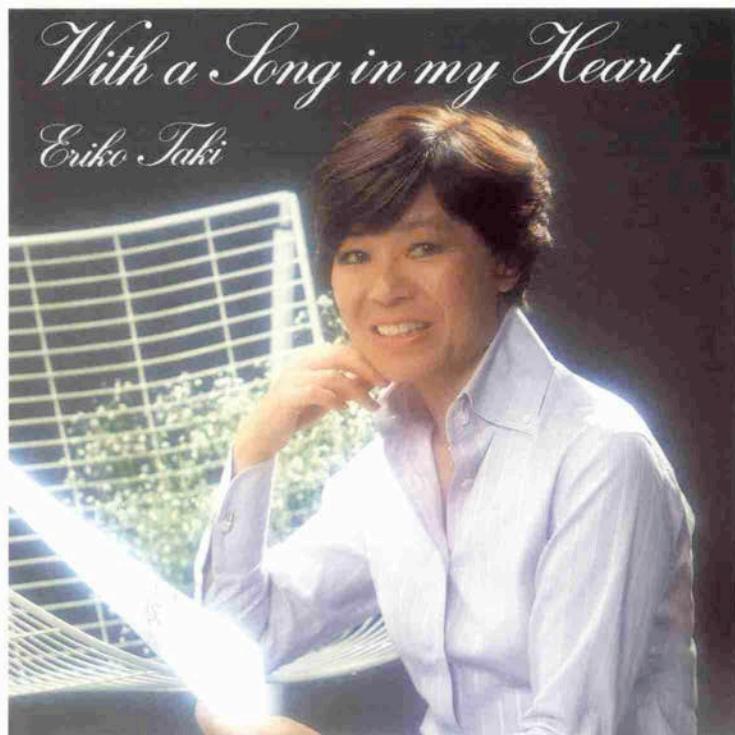
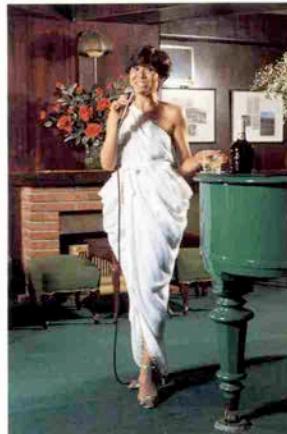
滝えり子 LPレコード出版

大好きな歌を唄いはじめて28年…
LPレコードの出版は、私の長年の夢でした。

ストリングスオーケストラをバックに懐しい
スタンダートジャズをどうぞお楽しみ下さい。

発売：9月1日より
価格： 2800円

- 神戸アルバトロス
(TEL.078-231-3300)
- 六本木アルバトロス
(TEL.03-479-0707)
にて、お求め下さい。



LPレコード出版記念パーティー

- 11月18日(金)PM6：30～9：00 ● 神戸オリエンタルホテル
- お問い合わせは 神戸アルバトロスまで、TEL(078) 231-3300



グランド六甲サマー ボウリングパック



懇親会、歓送迎会、グループの集いに 職場のコミュニケーションに みんなで楽しめるボウリングパックはいかがでしょうか

- ボウリング3ゲーム+貸靴+予約料+お食事(税込)
 - 年中無休 9:00~24:00
 - お迎えバス、人数等ご相談承ります。お気軽にご利用ください。
- (有効期限 昭和58年9月末日まで)



Grand Rokko

AMF100L

国鉄六甲道駅南へ3分、国道2号線沿
灘区友田町5-2-3 ☎ 078(841)3151代
駐車場完備(180台収容)

パックのご案内



ビアーパック	¥2,300
Aパック	¥2,700
Bパック	¥3,300
Cパック	¥3,900
スペシャルパック	¥6,500

立食パーティ形式



Dパック(立食)	¥3,900
Eパック(立食)	¥2,900
Fパック(立食)	¥3,900



神戸のうまいもんとドリンク

★日本料理

康枝名代うどん あこや亭
中央区旗塚通7-1-231-6300 トアロード店 ☎ 391-2538
兵庫駅前店 ☎ 575-5306 住吉店 ☎ 453-3737

北海道郷土料理 蝦夷
中央区中山手通1-4-13 東門筋東門会館ビル1階
☎ 331-7770

和食くれない
三宮生田新道浜側中央KCBビル2F ☎ 331-0494

料亭 布引大し
中央区熊内町4-8-19 ☎ 221-1945

たこ焼たちばな
三宮センター街(旧柳筋) ☎ 331-0572

民芸御食事処 五事
元町3丁目山側 ☎ 391-3156

本格派日本料理 割烹吉本
中央区中山手通2-3-20(生田警察署西口前)
☎ 331-5817-392-2020

山菜料理 六段
国鉄三宮駅山側 ☎ 231-0406

欧風焼鳥トリドリ
中央区下山手通2-12-21生田ソシアルビル
☎ 391-3028

そば処木曾路
フランワード市役所前KEビルBF ☎ 231-1295

鮑花
中央区二宮町3-10-16 ☎ 222-2323

どじょう吾
中央区元町通2-7-20 ☎ 321-0539

鍋・しゃぶしゃぶ 三十三間堂
神戸ワシントンホテル2F ☎ 331-6111

割烹銀
神戸ワシントンホテル2F ☎ 331-6111
甘党とばさら茶屋
阪急三宮西口山側レインボーブラザ1F ☎ 321-6363

★各国料理

レストラングリリアコ
中央区生田町1-4-20 ☎ 242-2020代

レストラン鹿皮(あらかわ)
中央区中山手通2-15-8 ☎ 221-8547-231-3315

ステーキハウスグリル青山
中央区下山手通2-14-5(トアロード) ☎ 391-4858

スカンジナビア料理 ゴツクスタッド
世界の民族音楽の店
中央区山本通3-1-2 回教寺院前 ☎ 242-0131

佛蘭西料理 K A R I N
神戸プラザホテル2F(元町駅南) ☎ 331-4558

すていハウス長崎
神戸市中央区布引町2-3-16 ☎ 221-1086

メキシコ小料理亭 テイフアナ
中央区中山手通1-21-13 パールコーポラスビル1F
☎ 242-0043

ピザ・パブ ピザ・パテオ
中央区元町通1-10-4(元町1番街) ☎ 331-9378

フランス料理 ピストロドウリヨン
中央区山本通2-13-6 ☎ 221-2727

レストラン 麻布キヤンティ
中央区北野町4-1-12 異人館俱楽部 ☎ 222-5380

maison de la mode
三宮フラワーロード市役所前 ☎ 251-2109

ボリネシア料理 海賊
神戸港第4突堤ボートターミナル ☎ 331-0301

レストラン フック東店
中央区栄町通1-2-14 ☎ 321-3207

SELF-SERVICE CAFETERIA
Beer House
三宮・生田新道 ☎ 331-9554

グリル・鉄板焼
月
三宮・生田新道 ☎ 331-2509

喫茶・レストラン カフェパウリスタ
三宮・トアロード(パクリスタビル1F) ☎ 391-0061

ステーキハウス れんが亭
中央区下山手通2-5-5 ☎ 331-7168

BARBECUE & STEAK
六段
中央区元町通3-8-4 ☎ 331-2108

レストラン フック神戸店
中央区栄町通2-9-11 ☎ 321-3453

ステーキ&ドリンクス
神戸館
中央区下山手通2-2-9 アマツビル1F ☎ 321-2955

サンバと
ブラジル料理
コパカバーナ
中央区中山手通2-1-13 ☎ 332-6694-6697

ドイツレストラン
ハイデルベルク
中央区山本通2-8-15 ローズガーデン2F ☎ 222-1424

シルクロード料理
ぶはら
三宮町2-3-9 タキビル2F ☎ 331-1734

The ghill BOB(ボブ)
トアロード西山側
中央区北長狭通3-1-2 ファーストバブ2F ☎ 392-2500

あぶり屋
和黒(わっこく)
中央区山手通1-24-1 ヒルサイドテラス1F ☎ 222-0678

炭やきステーキ
凱旋門
中央区下山手通2-10-4 新道ビル1F ☎ 392-3655

スコッチ&ガスライト
ローストビーフ
神戸ワシントンホテル9F ☎ 331-6111

フレンチとスペイン料理 エル・ヴィノ
中央区北野町3-2-4 アニルド・マンション1F ☎ 241-1344

中国料理 萬壽殿
中央区中山手2-20-4 ☎ 231-4531

フランス料理 ルー・サロメ
中央区中山手2-3-7 第2穴門亭ビル1F ☎ 392-1251

北イタリア料理 ベルゲン
中央区山本通2-3-2 ☎ 241-6952

炭焼ステーキ
ステーキハウス俱楽部
水
中山手通1-32-5ベンシルビル1F ☎ 241-7500

炭火焼肉 キムズギヤラリー
中央区中山手2-3-19 ロータリーマンション中山手1F ☎ 332-2900

ステーキハウス 伊
中央区御幸通7-1-20大信ビル2F ☎ 232-3031

★喫茶 City of City
コーヒーラウンジ
中央区三宮町3-9-1 ☎ 331-1117

ティー&スナック 工ポツク
中央区元町通3-8-8(浜側) ☎ 331-3694

喫茶ガーデニア
中央区東町113-1 大神ビル1F ☎ 321-5114

喫茶カフェ・ド・ガーデニア
中央区三宮町3-8 大和ビル ☎ 392-4004

LE CAFE ガ
中央区山本通2-3-14 ☎ 242-7144

宮水のコーヒー
にしむら珈琲店
中山手店・中央区中山手通1-26-3 ☎ 221-1872-231-9524

三宮店・国鉄三宮駅山側
センターブル・中央区三宮町10-27 ☎ 391-0669

北野店・山本通2-1-20 ☎ 242-2467
(会員制)事務所 ☎ 242-1880

ピアノホール バックステージ
中央区三宮町1 サンプラザ10Fサンロイヤル ☎ 332-0230

珈琲モーツアルト
中央区山本通2-6-11 グランドマンション1F ☎ 241-3961

サンドイッチハウス ココア
中央区加納町4-7-11 ☎ 392-4031

珈琲
中央区三宮町2-9-6(トアロード) ☎ 391-1589

喫茶館 英
神戸国際会館浜側 ☎ 251-4562

喫茶館 葡
三宮センター街3丁目 ☎ 391-9006

喫茶館 仏蘭西
三宮・フランワード(神戸市役所前) ☎ 232-4643

デザート喫茶 ぶどうの木
三宮・フランワード(神戸市役所前) ☎ 251-3231

パブレストラン
エドワード・ウエーリントン
中央区北長狭通2-6-6(トアロード) ☎ 332-1125

ウィーン菓子 モーツアルト神戸
中央区布引町2 メゾンロージュ1F ☎ 242-3001

姉妹店・モーツアルト三宮 神戸国際会館浜側 ☎ 251-3616

茶房ナイル
中央区下山手通6丁目2-7 ☎ 341-7376

喫茶モンブラン
フランワード市役所前KEビル1F ☎ 231-3605

ドクワーヌ・コピーブティック
ローテ・ローゼ
中央区北野町4-9-14 ☎ 222-3200

コヒービ
カフェ・ド・パリ
神戸ワシントンホテル2F ☎ 331-6111

TEA ROOM & LITTLE SHOP
ファミリア北野坂ハウス
中央区北野町2-8 ☎ 222-3535

喫茶チヤロ
中央区中山手通1-24-10 ☎ 241-5470

★CLUB 飛
club 鳥
中央区中山手通1-2-6 ☎ 331-7627

club 小
中央区東門筋中島ビル3F ☎ 391-0638-4386

Member's Lounge 異人坂
中央区北野町2-9-22(三本松不動北) ☎ 222-2001

club さ
中央区下山手通2-17-13 ☎ 331-7120

クラブ 千
中央区下山手通2-12-6 ☎ 391-1077

club なぎさ
中央区北長狭通2-11-2 ☎ 331-8626

クラブ ふらん
中央区中山手通1-3-1 ☎ 331-2854

club Moon Light
Club ☎ 331-0157 BAR ☎ 331-0886-391-2696

club コトブキ
中央区三宮本通り ☎ 331-1875

★STAND&SNACK 薔薇屋
レストランBAR 薔薇屋
中央区北長狭通5-5-22 ☎ 351-4311

サロンドアルバトロス
中央区中山手通1-22-10
大和ナイトプラザ2F ☎ 231-3300

ブナシャンソン
音楽の家
ETエトワトオ
中央区三宮町3-8-12 スカイトーアビル3F

神戸アロード三宮センター街西入 ☎ 332-1755
Theater pub トム・キャンティ
中央区下山手通2-8-2 神戸ワシントンホテル1F
☎ 331-2122

サウンドインキヤンデー
中央区北長狭通1-21-15ニューアンカビル3F ☎ 392-3606

スタンドグラムール
生田筋岸ビル地階 ☎ 331-4637

サロン神戸時代
中央区中山手通1-23-10
モンシャトウコトブキビル ☎ 242-3567

カクテルラウンジ サヴォイ
高架山側 テキの店北 ☎ 331-2615

LOUNGE コリーナドーロ
中央区中山手通1-22-13
ヒルサイドテラス1F ☎ 222-5470

ミュージック・ラウンジ サンツノーレ
トアロード店 中央区下山手通2-5-6 ☎ 391-3822
北野店 中央区中山手通1-22-10 大和ナイトプラザ6F
☎ 221-3886

スタンド千
中央区下山手通2-11-1 K.S.Mビル1F ☎ 331-4730

舌洞でつさ
中央区北長狭通1-5-12 ☎ 331-6778

STANDマシユケナダ
中央区中山手通1-4-6 ユーベルビル4F
☎ 331-5587

メンバーズモントカラル口
中央区中山手通1-7-6 ニューフラミンビル1F ☎ 391-0081
シャングリラ 中山手通1マリンビル1F ☎ 391-8941
グランプリ 中山手通1ニューフラミンビル1F ☎ 391-4406

WINE & RESTAURANT 酒夢猫
中央区中山手通1-13-14 神戸酒販ビル2F ☎ 332-3308

木広光夫のティファニ
中央区中山手通1-21-13 ☎ 241-1771

Wine and Something 珍地理屋
中央区中山手通1-22-10
大和ナイトプラザ1F ☎ 242-0288

S N A C K プチおるごーる
中央区下山手通2-11-1 K.S.Mビル2F ☎ 332-2680

レジャービル 西村ビル
中央区北長狭通2-12-10(生田筋) スーパーステーション
ランダムハウス45rpm 虎連坊 楽珍 エスキヤクラブ

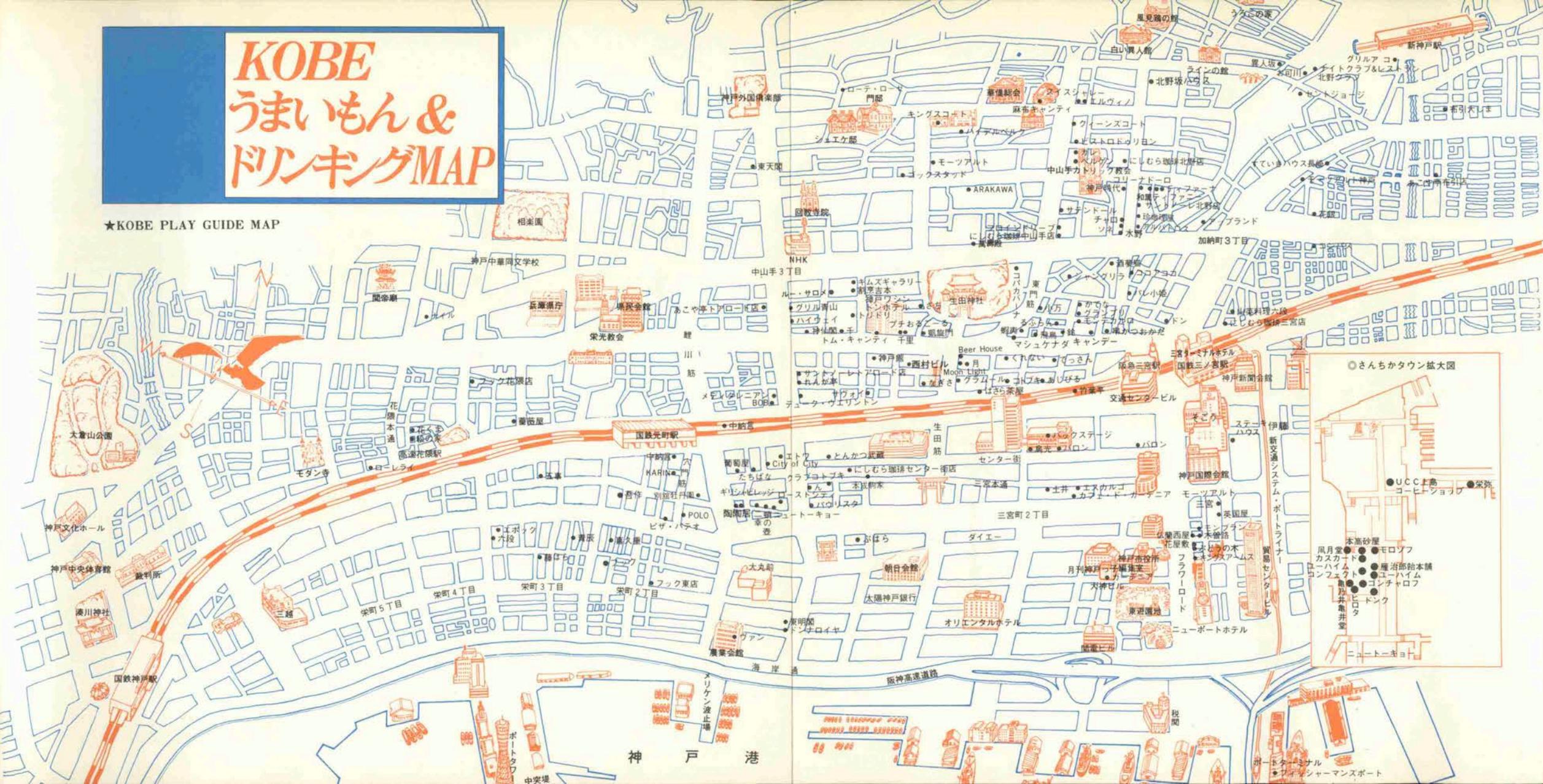
スタンドかてな
中央区中山手通1-7-10 英健ビル1F ☎ 331-1316
スマリーライ
高速花園駅西口東隣地下 ☎ 371-0086

KOBE うまいもん& ドリンクMAP

★KOBE PLAY GUIDE MAP

相樂園

神戸港



A HAPPY WEDDING



身心ともに健やかな家庭作りを

川本 辰美・美佐江さん夫妻

(昭和58年6月12日挙式)

(兵庫県警本部交通部運転免許課勤務・垂水区在住)

於・神戸平安閣

スポーツ好きな二人が、お互いに言葉を交わすようになったのは、日課のジヨギングを通じて。昼休みの時間を利用して、自動車試験場内を毎日走るグループの中に美佐江さんと辰美さんがいた。プロポーズは昨年の3月。「夢のようなことよりも堅実な家庭作りをめざしたい」と、ハネムーンは北海道へと旅立つていきました。

KOBE
HEIANKAKU



HANSHIN
HEIANKAKU



総合結婚式場

平安閣

神戸／神戸市兵庫区新開地3丁目2-15

☎ (078) 351-3390

阪神／尼崎市昭和通 5 丁目 1 3 2

☎ (06) 413-3303代



熱描いレタースタッフたち

- キャラクターを創る



〈永田良介商店〉

手づくりの暖かみ

小畠賢壯工場長から、今春
訓練校を卒業して入社した

午前八時。垂水区の木工の十七歳の青年まで十六セントーにある永田家具工芸の工場の始業ベルが鳴る。一八〇坪の敷地では、木名のスタッフが揃っている。永田良介商取りされた材料が職人の手店の手作り家具を制作するによつて綿密に組み立てら部門で、この團地協同組合れていく。

神戸木工セントー（永田良一郎理事長）ができたのは、あたりの訓練校や専修校を昭和四十三年、五五、一二卒業の後、二級、一級へと三平方メートルに三十数社の伝統を持つ手作り神戸家具の老舗が並んでいる。この道三十年のベテラン九州、山口、島根、豊岡の技能検定合格証明書を実施で働きながら取得する。更に十五年以上経つと指導員免許を受けることができる。

九州、山口、島根、豊岡あたりの訓練校や専修校を卒業の後、二級、一級へと技能検定合格証明書を実施で働きながら取得する。更に十五年以上経つと指導員免許を受けることができる。「いろんな工程があるのでも十年たつて一人前というところですね。オーダー家具なので、作っていて飽きるところがないですね。近頃は刃物や接着剤が随分よくなりましたよ」と小畠工場長眼の前で一竿すつ丁寧に造られるオリジナル家具の暖かみが伝わってきた。

ハイカラ神戸の
伝統が育んだ
格調ある専門店

- このシリーズはファッション都市KOBÉへの
私たちの願いをこめて....

★歐風家具・設計・創作

永田良介商店

神戸市中央区三宮町3丁目1-4 ☎391-3737~9

★本格派の人々に愛される

ヨシオカ

袖) 115:中央[3] 11-9 331-5190

★オートクチュール

マスター・ニュートン

神戸市中央区北長狭通3丁目12-14 ☎331-1818

★世界のオシャレをお届けする

神戸
KOBELINE

神戸市中央区元町通1丁目4-13 ☎331-3112

★よろず御襷衣縫上處

神戸シャツ

神户市中央区三宮町3丁目11-6 03-331-2168

★婦人帽子

マキシム

神戸市中央区北杉津通2丁目6-13 ☎331-6711

★舶来品ブティック

Sandohe

11-141-053-20030-07015-3 221-4797



西宮市のY氏邸

SHOPPING IN AUGUST



神戸の夏を、あなたに…

アンズ 

センターブラザ1F
332-3907

・宝石・アクセサリー・バッグ
アンズ 

手頃な18Kのブレスレットが入荷中。
夏に汎用できる象牙のアクセサリーも豊富
に揃いました。

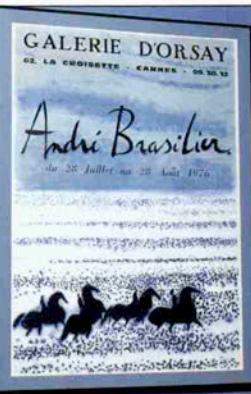
太田べつ甲店 

元町1番街山側 331-6195
トーンの違うべつ甲のグラデーションを楽しむ。シャープで洗練された大人のあなたのアクセサリー。

カスカード 

さんプラザ店 331-9738

・パンの歴史をつたえる
カスカード
珍しい世界のハムやフレッシュな野菜が一杯のサンドイッチ、カスクードは、カスクードにおまかせください。

末積製額 

トアロード・丸前 331-1309
絵を選ぶ、それに合った額縁を選ぶ、お部屋に涼しいアートを。

神戸で味わう中国の味



〈中国料理の魅力〉

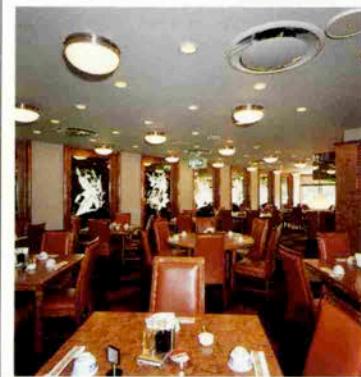
フランス料理と並んで料理の王様と中国料理はいわれる。同じ王様でも歴史と古さと種類の豊富さでは中国料理の方がはるかに上である。中国料理の味の魅力は材料の味をうまく生かしている所にある。上海、北京、広東、四川等各料理の中で味のこってりした上海料理は中国料理の代表といえるだろう。牛肉、豚肉、エビ、鶏、野菜をたくみに料理し一つのテーブルに供する事のできるのも中国料理しかない。そういう点では食文化の横綱といえる。豊富な種類と味、中国料理の魅力はそこにある。



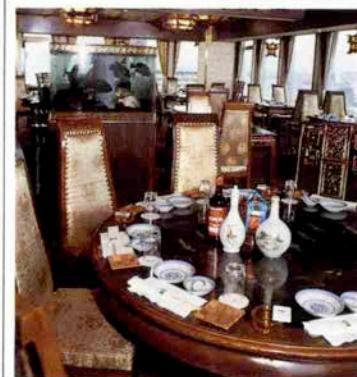
宮田達夫
(MBS Nau ディレクター)

★海の幸を使った中国海鮮料理 海鮮酒家 皇

★フランス風中華料理 夢香亭



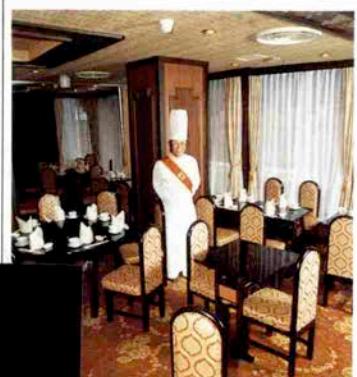
★広東名菜レストラン
別館牡丹園御影本店
東灘区御影山手1-2-10 御影ガーデンシティ
2F ☎ (821-6666)
阪急御影駅の山側、閑静な住宅街にある
ミカゲガーデンシティの2階。ゆつくり
寛げご家庭連れにも好評です。



神戸店 中央区二宮町3丁目12 大西ビル
☎ (078) 242-0008 (代表)
お子様料金が半額に――高校生以下のお
子様がご一緒に場合、お料理(コース)は
すべて50%割引とさせていただきます。



★大衆料理から高級料理まで
中国料理 栄和館
中央区栄町1-2-28 南京街
☎ (078) 392-1198
中国の高級料理が手頃な値
す。夏場は冬瓜(とうがん)
理。神戸で“中国の夏”が



中央区栄町通1丁目3-16 チャイナコート2F
☎ (332) 0191 毎水曜休み
5千年的伝統と歴史の中国料理に、近代
フランス料理の手法と演出を加えた新し
い味の芸術品をお楽しみください。



節の味覚が味わえる 〈のんべえコース〉2,500円
本酒またはビール1本と日本料理7品 (いかの糸造り、こんにゃくの酢
そえ、豆腐料理、神戸肉のたき叉又は焼きがに、おまかせ料理3品)

甘党と和風らーめんの店



阪急三宮駅西口山側レインボープラザ1F ☎321-6363

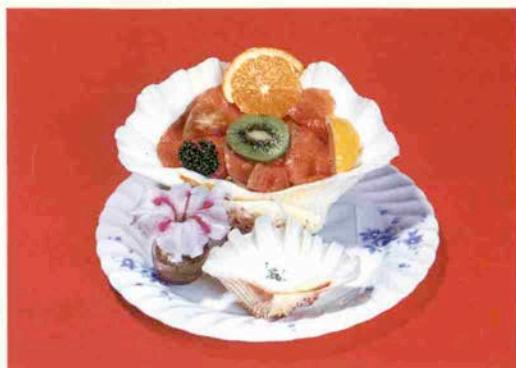


丸太の民芸調の店内で味わう季節感あふれた串焼。仲間で
ワイワイ楽しめて、店内も手づくりなら味も手づくり、女性
も人気のあるお店です。

季節料理・ぞうすい
オリジナル串焼



中央区北長狭通 2-10-10 ☎391-0759
(神戸サウナ南へ50メートル) PM5:00~AM2:00

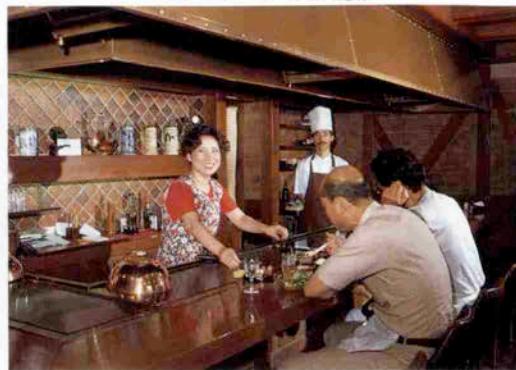


今月のおすすめ料理 ロミロミサーモン ¥1,200
スマーキューサーモンをフルーツドレッシングとココナッツ
ミルクにつけこんだハワイの名物料理。

ロマンチックな港のレストラン



ポートライナー・ポートターミナル駅ビル内
☎331-0301~2 月曜日定休



欧羅巴アンティークとミナト神戸の『媚夫達』。カウンターで
気軽なおしゃべりをしながらの鉄板焼もゴキゲンの味です。

N
I
G
H
T
I
N
K
O
B
E

I took a little trip to my home town, I only stopped just to took around.
And as I walked along the through fare there was music playing everywhere.

GALLERY AND PEOPLE 4

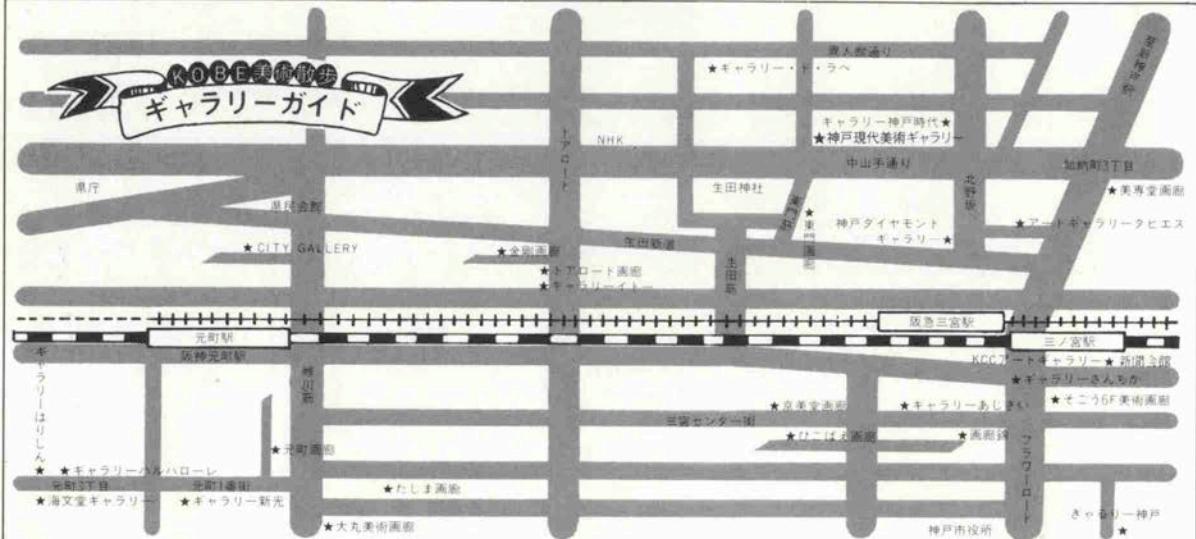
ギャラリー
神戸現代美術
ギャラリー
ヨーデン マモルさん



作家修業のレンタルギャラリー

かつて東京に田村画廊があった。若い作家たちがこぞって集い、ギャラリーをレンタルした。

大阪では信濃橋画廊がそれであり、松井憲作さんらが修業した。今、神戸では、神戸現代美術ギャラリーがそれをなさんとする。昨年5月に創設、美術記者出身のヨーデンさんのボリシー、情熱が次第に浸透しつつある。プロデューサーとして、一観客として、将来を見据える。27歳。



画廊 藥

5~7 写友7人展
9~14 盆休み
16~21 改装工事
23~28 水沢弘作陶展

画廊 錦

5~9 二人展
内田國雄・尾崎悟
11~16 一彩会日本画展
25~30 つくりまし展
洋画・写真・デザイン

ギャラリー あじさい

神戸市中央区三宮町1丁目
8-1-305 さんプラザ3F
(078) 331-1639-1067日

SALON& GALLERY (北野坂) 神戸時代

常設展

神戸市中央区中山手通1丁目
23-10 モンシャトーコトブキ
ビル1F (078) 242-3567
喫茶(昼)日休・スナック(夜)日曜休

ジョイント ギャラリー

常設展

神戸市中央区三宮町1丁目
6-18 ジョイント3F
(078) 331-2046

神戸市中央区三宮町1丁目
6-3 (パレックス東隣)
(078) 391-4137 月曜休

神戸市中央区三宮町1丁目
5-30 三宮センター街
(078) 331-1721-3水曜休